

協働型学校評価 平成30年度の取組

Plan 目標設定 (4・5月)

《協働型学校評価の重点目標》

到達目標

もの見方や考え方の多様化を理解し、他者への共感・思いやりの心を持って関わ
合う子供を育てる。

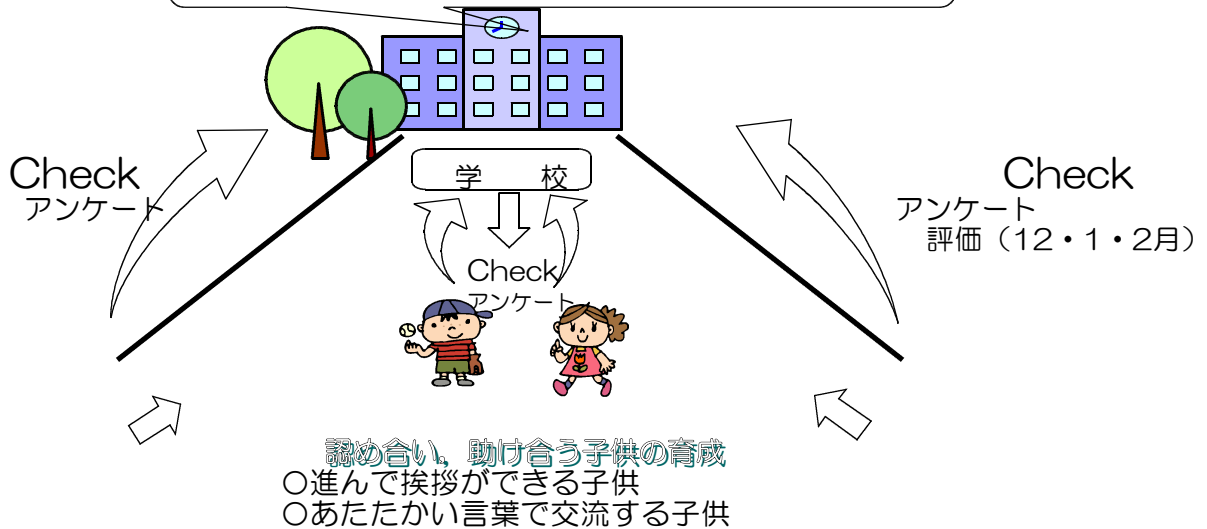
重点目標

《認め合い、助け合う子供の育成》

- 進んで挨拶ができる子供
- あたたかい言葉で交流する子供

DO 三者の取組 (5・6月～)

- ◇「挨拶運動」「あったか言葉のプレゼント」の継続
- ◇「どうとく通信」を通して、学校での取組を知らせる。
- ◇地域の方々と連携した授業や教育活動を展開し、関
わる力をつけさせる。
- ◇特別の教科道徳の授業研究と実践を積む。
- ◇「吉成っこのやくそく」「吉成学習スタンダード」の
定着を図る。
- ◇子供たち・学校の様子を積極的に発信する。



家 庭



- ◇家庭で挨拶をしていただく。
- ◇「どうとく通信」を読み、学校のことを話
題にしていただく。
- ◇「吉成学習スタンダード」の協力をしてい
ただく。
- ◇日頃のお子さんの言葉遣いに気をつけてい
ただく。

地 域



- ◇子供たちとあいさつし、一声かけていただく。
- ◇地域の活動に子どもたちの参加を呼びかけてい
ただく。
- ◇ゲストティーチャー・ボランティアとして学習
に参加していただく。

Action 改善 (2・3月)

- 自己評価・学校関係者評価の結果と改善活動を広く保護者・地域に公表
□良かった点は? ■不十分だった点は?
- 新年度の重点目標・目標達成に必要な評価項目・目標達成に向けた改善活動案作成



次年度の取組へ